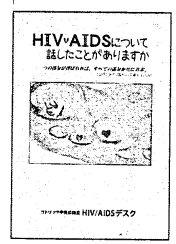
2012年11月25日
第4172号



参加した司教らはウォルソン（月城）原子力発電所近くのヤンナン教会で

教皇庁正義と平和評議会議長
タークソン枢機卿
日本の正平協と交流

バチカンと日本との外交関係樹立の記念式典に出席するため、教皇庁正義と平和評議会議長のピーター・コドヴォ・アピア・タークソン枢機卿が来日した。この機会を利用し、11月9日、東京・日本カトリック会館で、日本の正義と平和協議会（正平協、会長・谷大二司教／さいたま教区）のメンバーら約30人と交流の時間をもった。

はじめに、駐日教皇庁大使、ジョセフ・チェノットゥ大司教がタークソン枢機卿のことを、ガーナ出身で、もとは聖書学を学び、同国の神学校で教えていたこともあることなど、紹介した。

各自の自己紹介で、日本の正平協、また社会司牧の諸委員会の活動を紹介した後、タークソン枢機卿が話を始めた。

第2バチカン公会議により三つの新たな動きが起こり、キリスト教他教派との関係について「キリスト教一致推進評議会」、他宗教について「諸宗教対話評議会」、社会とのかかわりについて「正義と平和評議会」ができたと説明。「正義と平和評議会は『現代世界憲章』に基づいてつくられました。人類とどう連帯、対話するか。そこで人間の尊厳を守り、生命尊重、信教の自由を守り、移民であれ出生前の子どもであれ全ての人の人権を守る。これを実現するため、国レベル、教区レベルの評議会があります」

この正義と平和を求める教会活動は聖書に基づいていることも強調。例えば旧約聖書にも貧しい人の救済が繰り返し述べられ、イエスの奉仕職も社会秩序の要請に応えようとしてきたことから、「聖書に基づくキリスト教には、その最初から、社会的な要素が根幹にある。現代でも各国で社会司牧の領域があり、行政や議会にも直接働き掛けている」と力説した。

さらに教皇庁と、各国の現場との関わりについては、「活動するのは皆さん。何が問題かを皆さんから学び、それをローマで研究する。金融危機の時には金融システム改革について研究、提言しました。平和の日メッセージも私たちの評議会が三つの緊急課題を考え、教皇様がこの内一つを選び、文案を作成します」

「もっと運動を！」

谷司教からは日本に関する具体的な3課題への質問が出された。

一つは戦前に祈教聖省から出された、日本の信者による神社参拝を奨励する指針について。現憲法の政教分離原則からは不適当な内容となっていることについて示唆を求めたところ、同枢機卿は本件について、ローマに戻り関係部署と検討する旨、表明した。

日本の司教団が昨年脱原発メッセージを出したことに関連し、原発に対する教皇庁の見解を再確認したところ、技術開発が進んでいることもあり、核廃棄物処理といった問題が解決するのを待つという面があることも説明した。他方、日本で政府に対し原発の安全や代替エネルギー研究などを要請することは重要だとも語った。

日本でなかなか進まない死刑廃止運動については「もっとキャンペーンなどの運動が進むよう強く支持します」と述べた。

交流に臨んだタークソン枢機卿（中央）。右はチェノットゥ教皇庁大使、左が谷司教

また、巻末には、今年1月～6月に、同デスクが行った「HIV／AIDSに関するアンケート」の調査結果もある。アンケートには、15教区63小教区の信徒・修道者・司祭、および19カトリック学校の生徒・学生・職への配布を始めた。小冊子には、①HIV（エイズウイルス）とAIDS（エイズ）に関する基礎知識②当事者への

ご利用ください　クリスマス特集号

カトリック新聞社では、クリスマスに向かい、特集号を準備しています。ご降誕の喜びを豊かに味わうための絵や記事、福音解説、クリスマスについての「豆知識」などを掲載する予定です。ぬり絵など子どもたちと楽しめるコーナーもあります。クリスマスの贈り物として、また子どもたちのクリスマス会などで、お役立てください。

◆1部100円（4ページ／税・送料込）の特別価格
※特別価格のため5部以上でお申し込みください。

◆11月29日（木）よりお届け可能です
※お届けご希望日の1週間前までにご連絡ください。

※**定期購読者**の皆様には、この特集号を、12月23日付4176号として、ニュース記事などを加えてお届け致しますので、**あらためてお申し込みいただく必要はございません。**

お申し込みは、カトリック新聞社 購読係まで
☎ 03 - 5632 - 4432　FAX 03 - 5632 - 7030

みんな輝輝（きらきら）

目標がはっ

小学5年のに転校。このしたね。終戦年後、広島へ大で、創立者ところで勉強神父様は音楽っちゃかめっけど、それがし、音楽と信神様が中心会のシスターてみようかなスターがとっ家族は反対すカ月か2カ月

ど、何十年も続時々嫌になるもそのたびに初いつも待ってい入って4、5門に）しないかでの個人レッど、修道生活を理だと分かってしたね。その後司牧をして。刑の方とか出会そんな所に広いと思った。そに行きたい、と1988年か長野で単身派遣

関するテーマに人は、相談を持たれたら「分から談にのれない・答えている。

アンケートかずかな知識であHIV／AIDて知ることが、半